

# 令和3年6月30日から7月3日にかけての梅雨前線による大雨について (和歌山県の気象速報)

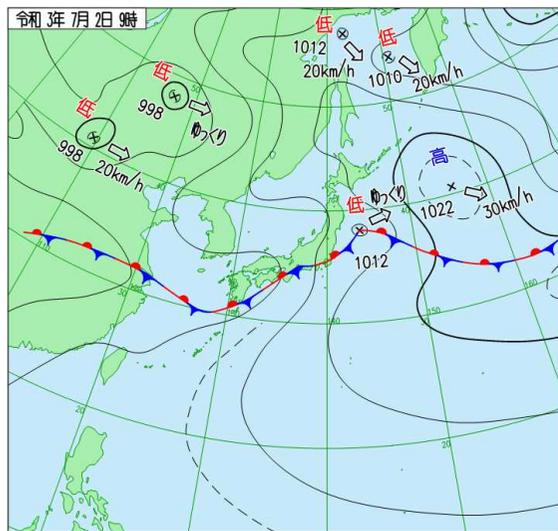
この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

## 概要

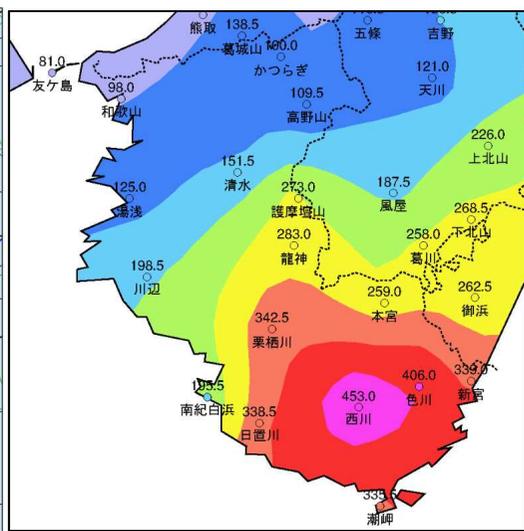
6月30日から7月3日にかけて、梅雨前線が西日本に停滞し、近畿地方には暖かく湿った空気が流れ込んだため、和歌山県では大気の状態が非常に不安定となり、南部を中心に大雨となりました。この期間の総雨量(6月30日13時から7月3日06時まで)は、古座川町西川で453.0ミリ、那智勝浦町色川で406.0ミリ、田辺市栗栖川で342.5ミリを観測しました。

和歌山県と和歌山地方気象台は、土砂災害警戒情報をすさみ町、白浜町、田辺市田辺、那智勝浦町、串本町、上富田町に発表して厳重な警戒を呼び掛けました。また、古座川、日高川に氾濫注意情報を発表しました。

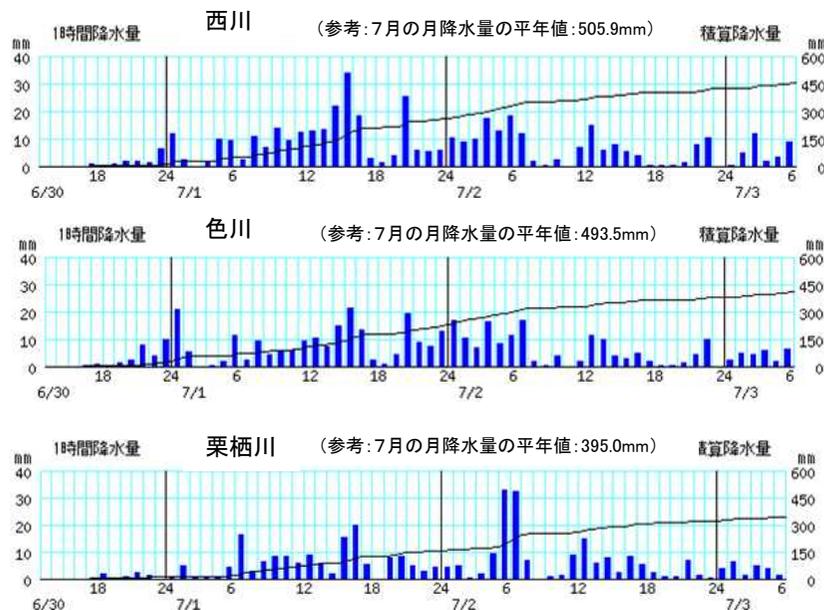
この大雨により、すさみ町全域に避難指示、田辺市田辺、串本町、上富田町、古座川町に高齢者等避難が発令されました。また、道路の通行止めやJRの一部区間で運転見合わせがありました。  
【被害状況：3日07時00分現在、和歌山県調べ】



7月2日09時 地上天気図



降水量分布図(6月30日13時~7月3日06時)



降水量時系列グラフ(6月30日13時~7月3日06時)

※横軸は時刻を示す。  
※降水量棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す(単位:mm)